

# 枚方教育

No. 1856  
2021.3.22

枚方教職員組合  
枚方市西禁野一・一三  
TEL 八四八・三三〇〇  
FAX 八四八・三〇五二

## 枚方市が次々統廃合、民間委託打ち出す、

### 子どもの利益、安全安心な環境こそ優先を

## 児童会・プール授業・保育所民間委託 中北小・高陵小を1年で一気に統合!?

枚方市・市教委は、保育所、児童会、学校関係の民間委託、統廃合計画を次々打ち出しています。中には、学校教育や市の責任で実施してきた保育の民間委託に大きく踏み出す施策もあげられており、子育てや子ども達の教育環境に大きな影響を与えることも考えられるため、十分な説明が必要です。見切り発車の民営化に踏み出すことなく、本来の教育や子育てのあり方から、保護者、市民、教職員や市職員を含めた十分な説明や理解と、慎重な検討こそ求められます。

## 学校プール授業民間委託(山田小で試行)、

### 「今後すべての小学校に」も、経費削減で現場に負担

枚方市は、2021年度に山田小でプール授業を学校プールではなく、民間プールの業者の専門スタッフの指導も受けながら実施するとしています。検証結果を経て、今度、すべての小学校に実施する方向で取り組みを進めたいとしています。

この理由として挙げているのが、民間業者の専門指導で教師の負担軽減と技術向上、プールの維持管理にかかる経費削減を上げています。

全国的にも、学校プールを廃止して、民間業者の施設で授業を実施する動きが出ています。

しかし、実施に当たっては、移動時の児童引率の時間や負担、始動時も教師と一緒に指導に当たるとしているなど、負担軽減と言えない課題も山積んでいます。そもそも、すべての小学校で実施するための民間施設があるのか、移動時間がかかる施設もあり、施設の利用スケジュールに合わせて、学校の授業や行事が設定されないかなど、現場の負担は計り知れません。

民間業者の技術指導を生かすとしていますが、本来は教育活動としての水泳授業が、民間業者の指導に大きく左右される恐れもあります。

## 中北小・高陵小を1年で統合!?

### 「3年かけて協議の原則はぶじく?」 子ども保護者への説明と理解を優先すべき

市教委は、2022年4月に中北小・高陵小を統合するために統合協議会を発足して取り進むとしています。

来月4月に、高陵小児童を中北小校舎に通う形で2校を統合し、その後高陵小敷地に新校舎を建て替え、2026年に高陵小跡地の新校舎へ移転するとしています。

2015年末に、枚方の小中11校の統合計画が示されましたが、保護者や市民からの疑問、反対意見が強く、市教委は説明と理解に取り組みと、計画は棚上げして5年後に計画を示すとしていました。

その中でも、中北、高陵小については、先行して統合を進めるために取り組んでいくとしていましたが、住民、保護者説明などに市教委が取り組んできていました。

## 3年かけるはずが 1年で統合?

本来、文科省の学校統合の指針や、枚方市の学校規模等

適正化基本方針でも、統合の3年前には統合プランを示して、統合協議会を設けて準備を進めるとしていました。

ところが、今回の方針では、プランを示し協議会を作った1年で統合されます。子どもたちも来月4月には全学年が一気に中北小校舎に行つて、クラス替えが行われて今までと全く違う学校生活が余儀なくされます。

学校統合は、子どもたちや保護者。地域住民に大きな影響や負担を与えるだけに、慎重な準備や理解が必要なはず

枚方では強引な統合で、過去には統合後、子どもたちがすさんだ中で学校生活を送らざるを得なくなったことも経験しています。

枚方教組は十分な説明と理解を優先し、来月4月の期限を見直すべきと求めています。子ども・保護者を優先した、慎重な対応こそ必要です

## 保育所の民営拡大!?

### 駅前再整備の財政削減優先?

枚方市は、従来の計画にない「阪保育小」「桜丘北保育所」の民間委託を打ち出しました。

従来、17あった保育所を7カ所民営化しており、将来7保育所にするとしていましたが、従来の計画によらずに民営化を拡大していくと、方針転換しています。

しかも今まで実施してきた民営化とセットの保育定員拡大も行わないとしています。

市の職員全体も、今後4年で200人以上削減する方針を示しており、駅前再整備のための削減策とさえ受け取れます。

コロナ禍で再認識されている自治体の公共施策の責任を果せる体制こそが必要です。

## 児童会民間委託へ? 市の責任で子どもの 成長・安全な保育を

市教委は平日放課後や長期休業中に実施する留守家庭児童会に加え土曜日や長期休業中に実施する「放課後子ども教室」を開設し、児童会と一体に「放課後キッズクラブ」として運営していくとしています。

「子ども教室は」無料で入室要件もなく土曜実施もあります。反面、資格のある指導員や定員もなく、「保育ではなくあくまで、自由で自主的な遊びの見守り」とされています。

2021年度から先行実施として、川越小・津田小では市直営で、山田小・さだ小では民間委託で実施としていますが、今後民間委託を拡大していく方向を打ち出しています。

コロナ禍で児童会の社会機能を維持する上での重要性、子どもたちにとっての放課後の安全で、豊かな学習や生活を保障する上での重要性が誰の目にも明らかになりました。

枚方教組は、「臨時的・緊急の居場所」の問題でも、児童会指導員の深刻な欠員状況を、専門性を活かして保育を保障するために、大幅な待遇改善、保育条件整備の改善を市教委に強く要求してきました。

安易な民間委託は他市で起きているような、利益優先の、保育の低下につながるかねません。